



ただよしろの市議会通信 No.36 新春号

ただよしろ事務所
宇陀市榛原下井足1047
TEL:0745-82-5855
FAX:0745-82-7876
Mail: ma33hk23ml@kcn.jp

ごあいさつ

新年あけましておめでとう
ございます。昨年は何かと細
やかなご指導・ご鞭撻を賜り
まして誠にありがとうございます
ました。本年もどうぞ宜しく
お願い申し上げます。
宇陀の美しい紅葉の季節も
足早に終り、最近の「暖冬へ

新春のお慶びを 申しあげます



週間の速さ、一月の速さのあま
りにも速いという実感です。こ
の万人にとつて公平な時間に
関する諺には、「一日を疎かに
してはいけませんよ」という先
人の戒めが強く込められていま
す。たとえ誰がよく知る諺
「光陰矢の如し」、また「今日で

んな話はどうかと思いますが、
「死はいつ如何なる時に訪れる
かわからない」という諺、何か
をやり遂げようと思つていても
人には各々寿命があります。人
生の終末がいつ訪れても悔いの
ないように平生からしっかりと
覚悟を持ちなさいとの戒めが、
この歳になると身に沁みます。
新年ミスマッチついでに、「臨

異変」はどこへやら、本格的
な冬の装いが一気に日本列島
をおおう中で迎えた年末・年
始。皆様方には、あわただし
い内にも晴れやかに新年をお
迎えのことと存じます
さて、自民党の政権奪還か
ら始まつた平成25年。この一
年間を振り返つて徒然に感じ
ますことは、一日の速さ、一

きることを明日まで延ばすな。
先送りすれば仕事は溜る一方に
なります。やるべきことは直ぐ
にやる習慣を身につけることが
大切でしょう。また、「思い立
つたが吉日」も、私達の日々の
生活や市政運営にも心すべき諺
です。
ところで、「無常の風は時を
選ばず」とか。新年早々からこ

終を迎えた人の後悔のことがば
スト10」というのがあつて、そ
れは次の通り。「⑩もつと健康
を大切にしておけばよかつた。
⑨感情に振り回された一生を送
つてしまつた。⑧仕事、仕事で
家庭や家族を顧みなかつた。⑦
子供を妻に任せきりで子供との
ふれあいの時間が少なかつた。
⑥タバコを止められなかつた。

⑤行きたいなあと思つていた
ところへ行かなかつた。④ほ
んとうにやりたかつたことを
やらなかつた。③自分の生き
た証を残せなかつた。②美味
しいものを食べなかつた。①
愛する人に『ありがとう』と
素直に言えなかつた。』なる
ほどと思われることばかりで
すね。人生の先輩たちからの
貴重なアドバイスと心にとど
めたいと思います。
過ぎ去つた平成25年に反省
と感謝、始まつたばかりの平
成26年に希望と期待を寄せな
がら、皆様の益々のご活躍と
平安を心よりご祈念申し上げ
ます。新年からは、先人の言
葉どおり、一日の目標、一週
間の目標、一月の目標を決め、
「時間」の大切さを悟り、一
歩一歩着実に前進して更なる
宇陀市の発展に貢献して行き
たいと強く思っています。
新年も変わらぬご指導御鞭
撻の程、宜しくお願い申し上
げます。

12月議会

ネットモール・〇〇王国構想にも期待 新産業の芽生えを促して活性化を



その際、特に注目したのは農
業分野の6次産業化への取り組
みと産業振興会議の提言書に盛
り込まれていたインターネット
モールおよび宇陀市〇〇王国の
構想、そして(有)Gラボが拠
点を定めた伊那佐文化センター
の今後の展開など。質問を通し
て、こうした新産業化への働き
かけを今後より迅速に積極的に
進めていくことを求めました。

閉会中の10月3・4日は新潟
県へ飛び、見附市のスマートウ
エルネスシティ、村上市の木質
バイオマス、佐
渡市の定住の
里づくりを視
察しました。
また、12月6
7日は高知県
と香川県で、国
県が近年強力
に推進・支援し
ている6次産業化について、先
進地の視察を行い、本市が計画
中の伊那佐文化センターへの企

行政視察レポート 6次産業化先進地に学ぶ



業誘致実現に向けた課題を学び
ました。共通して言えることは、
人口減少と少子高齢化、若者の
都市部への流出と
一次・二次産業の担
い手不足による衰
退傾向の中で、将来
に渡って持続可能
な地域社会を再生
堅持していくため
の取り組みはどう
あるべきかという
こと。その答えの一つが6次産
業化で、地域に立脚した産業振
興と雇用創出が期待できます。

12月定例議会の一般質問では、
私は産業振興に焦点を当て、特
に平成24年にまとめられた産業
振興会議の提言書や伊那佐文化
センターへの企業誘致などを中
心に質問を行いました。
まず、所管部長への質問で、
市内の産業が衰退の傾向にある
こと、しかし同時に従来の枠組
みに収まらない複合型のスキマ
産業など、新産業の芽生えが見
られることを確認したうえで、
ではどのように産業を盛り立て
ていくのか、今後の具体的な方
策について尋ねました。

宇陀市掲示板

※印は、事前に申し込みが必要です。お問
合せは、商工観光課まで。

- 1/1(水)鳥見山新春御来光まつり
AM6:00~
- 1/13(月)成人式(約330人)
- 1/17(金)消防団出初式
AM10:00(大宇陀ふれあいドーム)
- 2/1(土)「古事記に出会って」宮田修氏
PM13:30~(榛原総合センター)※
- 2/16(日)男女共同参画集会
PM1:30(生室振興センター)
- 2/22(土)古事記朗唱大会
AM10:30~(県新公会堂)※
- 2/27(木)市長選・市議選立候補予定者説明
会PM10:00(農林会館)
- 2/28(金)しらゆり保育園竣工式
AM10:00~
- 3/8(土)市町村対抗子ども駅伝大会
AM9:30~(広陵町・馬見丘陵公園)
- 3/14(金)市内幼稚園卒園式
- 3/15(土)市内中学校卒業式
- 3/16(日)菅笠日記の旅(道の駅室生~礼の
辻あぶらや)AM9:30三本松駅集合※
- 3/20(木)市内小学校卒業式
- 3/22(土)市内保育所卒園式
- 4/20(日)市長選、市議選告示日
- 4/27(日)市長選、市議選投票日

●編集後記

▼昨今、本に親しむ機会が少な
くなっています。電車やバスに
乗つても乗客はほとんどスマー
トホンやiPadで黙々と指
を動かしています。大変な世の
中になつたと先行きを案じるの
は私だけでしょうか。だからと
いうわけでもないのですが、最
近図書館通いをしています。書
架に丁寧に分類された、人から
人に読み継がれてきた本に安心
感と親近感を覚えます。特に郷
土関連のコーナーが好きです。
▼「宇陀と義経親子三代記」「大
和朝廷以前の宇陀」「宇陀の里
(大門貞夫著)」「高山右近と大和
沢城(岡野義富著)」「大和宇陀福
西と灌頂寺(吉岡芳直著)」「万葉
阿騎野におけるかぎろひ考(岸
本進著)など、魅力いっぱいの本
に出会いました。著者は宇陀市
在住の方々です。先日、あるセ
ミナーで「観光リピーターを増
やす最大の資源は市民の郷土愛」
と教わりました。郷土を深く知
ることから、地に足の着いたま
ちづくりを進めたいものです。